

KP TIMESはびわ湖の森の木になる紙を使用しています

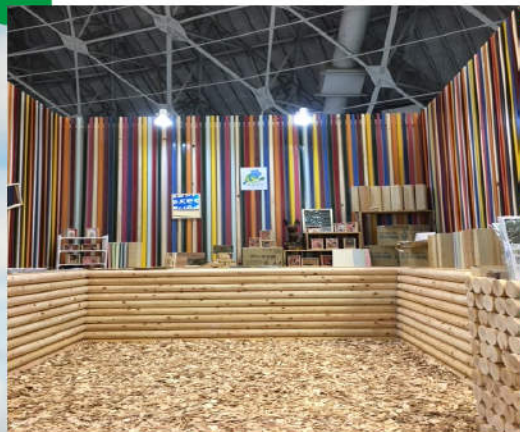
琵琶湖環境ビジネスメッセ2017に行ってきました！

毎年恒例となりつつある、環境ビジネスメッセの参加全業務部員が目にも手に触れて感じ学んでいただけるよう毎回交代で見学させていただいているイベントです。

今回私たちは、木になる紙ネットワークに着目しました。展示ブースは木材チップが敷き詰められ、間伐材を使った製品、ファイルや名刺入れが展示されており、通りすがりにも目を引くようなおしゃれな空間になっていました☆



JR田村駅下車すぐの長浜ドームで開催されます。開催期間中ドームの外では、フードコートが常設されています。



〇〇地域の森の木になる紙の仕組み

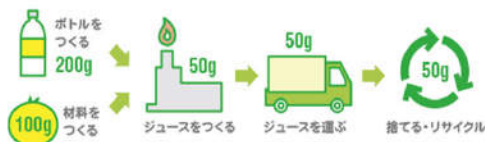


取り扱い商品の中でも、間伐材を利用したリサイクル用紙は、弊社でも着目すべき商品でした。A4サイズの用紙1箱(2500枚)を購入することにより、カーボンオフセット量1,025グラムです。

例えば…

ペットボトルで考えてみると

ペットボトルのジュースは、原料をつくる場所から運ぶところ、捨てる場所など、さまざまなところでCO2が排出されています。



CO2排出量をペットボトルで換算してみると、このようになります。排出はたやすくてもオフセット(相殺)することがいかに大変かがわかります…

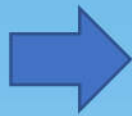
思いだけでなく早速、弊社でも購入してみました！見た目は通常のコピー用紙よりグレーがかっており、手触りも柔らかく感じます。継続して発行しているこの環境新聞にもこの紙を使用することになりました(ˉˉ)

数年前と比較するとペーパーレス化は進み、紙の使用量を減らす努力を行っている弊社ですが、やはりまだまだ紙は切っても切り離せない存在です。リサイクル用紙を導入することにより紙の無駄遣いの意識が変わるような気がします。そして、環境活動にほんの少しでも関わっているような気にもなります！

- 1 森林の公益的機能の維持 発揮への貢献
- 2 林業・山村の活性化への貢献
- 3 地球温暖化防止への貢献 (カーボンオフセット)



3S活動



弊社の3S活動の一環で什器で棚を自社作成し、今まで縦に重ねて保管していた商品を、スッキリと収納できるようになりました。
作業効率もUP↑

今後も、試行錯誤しながら活動を充実させていこうと思います。



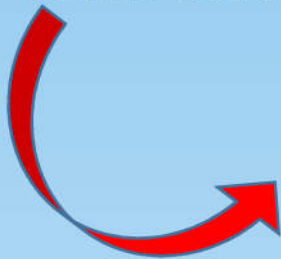
2017年11月3日に点灯式がおこなわれた「ときめきプロジェクト」

京都駅周辺エリアにてライトアップを実施する施設が連携し、開催期間内に同色の協調演出を実施！

期間は2017年11月3日から2018年2月28日までです。

京都タワーも期間によって違う顔になることでしょう♪

弊社からはこちらを作製いたしました！



点灯スイッチ



当社毎年恒例の柿狩りが11/25(土)に行われました。

社員一同及び加工先サが会する唯一の行事です。今年は総勢51名☆
日頃あまりお話しすることのない人達とも和気あいあいと楽しみました

